



洞爺湖町 議会だより

No.65

令和4年 4月・5月・6月会議
2022.8

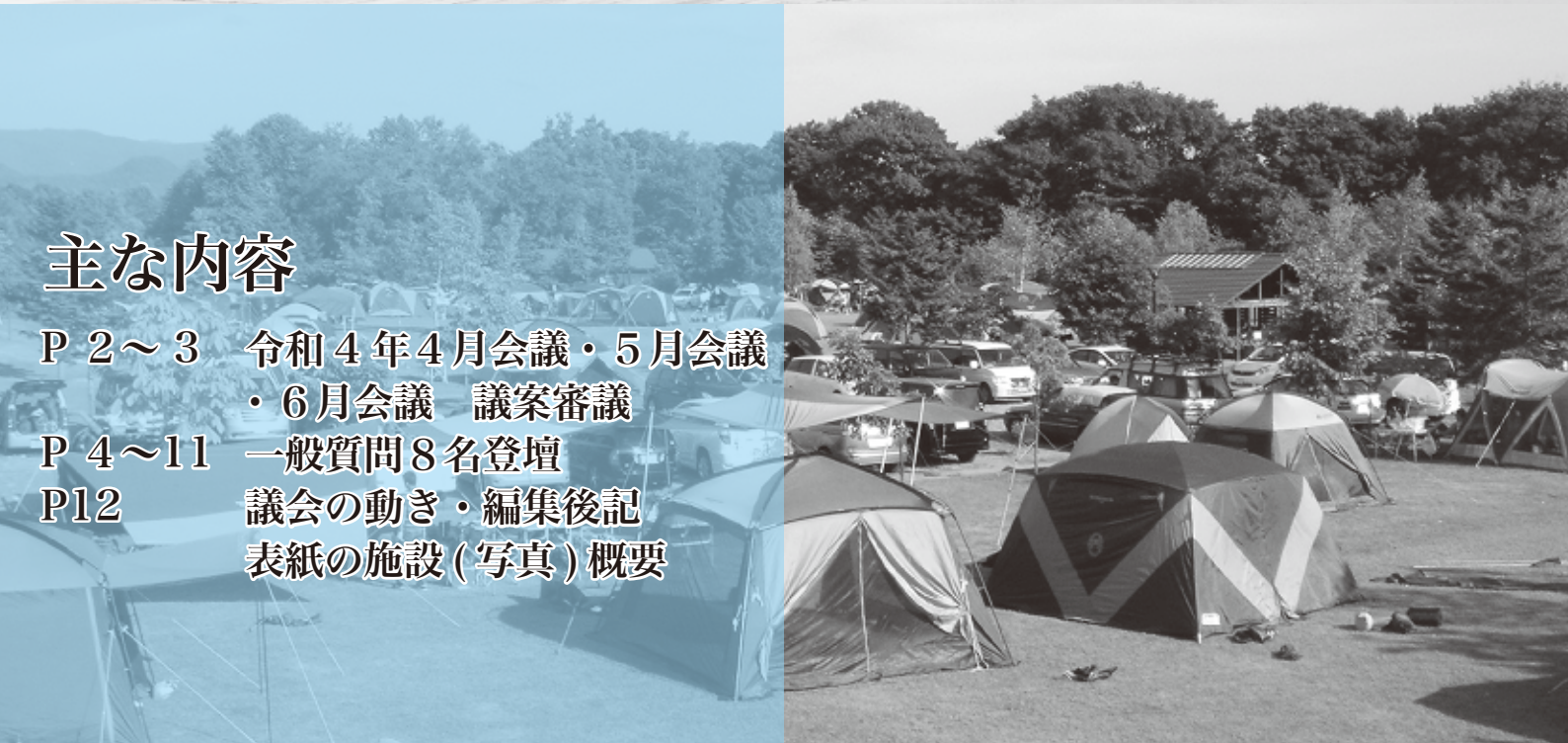


洞爺水辺の里 財田キャンプ場



主な内容

- P 2～3 令和4年4月会議・5月会議
・6月会議 議案審議
- P 4～11 一般質問8名登壇
- P12 議会の動き・編集後記
表紙の施設(写真)概要



令和4年 4月会議

4月会議が4月26日に開会し、町長から提出の報告2件を原案どおり可決しました。

また、議会運営委員の補充選任、常任委員の所属変更及び西胆振行政事務組合議会議員の補欠選挙が行われました。

【主な議案の審議内容】

報告

○専決処分報告（洞爺湖町税条例の一部改正）

地方税法等の改正に伴う町税条例の一部改正。

○専決処分の報告（令和3年度一般会計補正予算）

地方交付税額等の確定などに伴う補正予算。

常任委員の選任等

○議会運営委員会副委員長

大久保富士子議員

○総務常任委員会委員長

千葉薫議員

○経済常任委員会委員長

篠原功議員

西胆振行政事務組合 議会議員選挙

○大屋治議員を選出

令和4年 5月会議

5月会議が5月12日に開会し、任期満了となる選挙管理委員、教育委員会委員や監査委員などの任命同意と条例改正3件、補正予算6件を原案どおり可決しました。

【主な議案の審議内容】

人事 案件

5月17日に任期満了となる行政委員などの選任を行った。（敬称略）

○選挙管理委員の選挙

小田桐 勝太郎

洞爺町 350・30

奥山 洋子

洞爺湖温泉 78

竹内 廣志

栄町 67・20

福島 良一

本町 157

○選挙管理委員補充員の選挙

順位1 齋藤 敬臣

洞爺湖温泉 36・20

順位2 阿久津 春幸

高砂町 116・25

順位3 中澤 茂

洞爺町 174・2

順位4 佐藤 正人

青葉町 111・68

※補充員とは、選挙管理委員に欠員が生じた場合に名簿の順位により委員に就任する。

○教育委員会委員の任命

吉田 聡

旭町 76

来栖 由喜

洞爺湖温泉 144

○監査委員の選任

山口 芳行

浜町 31・2

補正 予算

○一般会計

歳入歳出をそれぞれ94

56万円の増額。

・議員報酬、期末手当 3

94万円の減額

・職員手当 1200万円の減額

・妊産婦応援特別給付金

200万円の増額

・飲食店宅配サービス支援事業補助金 100万円の増額

・プレミアム商品券発行事業補助金 3300万円の増額

・ジオパーク、縄文を活用した観光資源魅力推進事業補助金 200万円の増額

・宿泊割引事業補助金 4

313万円の増額

・健康福祉センター検診室へのエアコン設置工事 380万円の増額

・学校施設等の除菌機器購入 773万円の増額

・予備費 1626万円の増額

・国民健康保険特別会計外3特別会計、企業会計

主に、職員手当の減額及び予備費の増額。

令和4年 6月会議

6月会議が6月15日から17日まで開会し、条例改正や補正予算などの議案16件を原案どおり可決しました。また、議員提案の意見書1件を可決しました。

なお、8人の議員が一般質問を行いました。

【主な議案の審議内容】

人事 案件

○教育委員会教育長の任命

教育長に渋川賢一氏の任命について同意。

報告

○令和3年度一般会計繰越明許費繰越額の報告

戸籍住民基本台帳管理事業他3事業について、令和4年度へ繰越する金額の報告。

条例改正

○洞爺湖町特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正

町長の給料月額を令和4年7月から令和8年4月まで20%減額するもの。

○洞爺湖町国民健康保険税条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免申請期限の改正。

○洞爺湖町介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免申請期限等の改正。

規約の変更

○北海道市町村総合事務組合規約の変更について

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
構成団体の追加に伴う規約の一部変更。

協定の締結

○工事委託協定の締結

洞爺湖町公共下水道蛇田下水終末処理場他の建設工事

協定金額 3億6200万円

蛇田下水終末処理場、とうやクリーナップセンター、蛇田・洞爺湖温泉ポンプ場の機械電気設備などの製作・据付等。

補正予算

○一般会計

歳入歳出をそれぞれ5億6575万円の増額。（詳細は下表のとおり）

○国民健康保険特別会計

歳入歳出をそれぞれ157万円の増額。前年度からの繰越金による増額補正。

○公共下水道事業特別会計

歳入歳出をそれぞれ292万円の増額。前年度からの繰越金による増額補正。また、下水道料金を1ヶ月（7月請求分）減免することに伴い1360万円を減

額、一般会計からの繰入金
を1360万円増額補正。

○介護保険特別会計

歳入歳出をそれぞれ5656万円の増額。前年度からの繰越金による増額補正。

○簡易水道事業特別会計

歳入歳出をそれぞれ550万円の増額。前年度からの繰越金による増額補正など。また、水道料金を1ヶ月（7月請求分）減免することに伴い370万円を減額、一般会計からの繰入金

科 目		補 正 予 算 の 概 要	金 額
議 会 費 総 務 費		箱根町訪問・先進地視察事業	184万円
		企業版ふるさと納税活用事業	1981万円
民 生 費		地域福祉計画策定事業	269万円
		福祉灯油購入助成事業	166万円
衛 生 費		出産祝金支給事業	256万円
		0歳児おむつ等無償化事業	325万円
農 林 水 産 業 費		洞爺ふれ愛センター改修事業	99万円
		リサイクルセンター花美館屋根補修事業	144万円
		農業用廃プラスチック資源リサイクル事業	120万円
		森林環境譲与税活用事業	313万円
		洞爺湖中島自然環境再生事業	200万円
		洞爺湖漁業協同組合捕獲網作成事業	468万円
		漁業系廃棄物処理施設管理棟整備事業	688万円
		とうや湖・月浦ワイン&グルメ祭り開催事業	80万円
		後継者対策支援事業	88万円
		TOYAKO マンガ・アニメフェスタ運営費補助事業	100万円
商 工 費		特産品販売販路拡大事業	320万円
		洞爺湖観光情報センター屋外床改修事業	98万円
		洞爺湖中島園地整備事業	4728万円
		洞爺水の駅空調設備整備事業	360万円
		洞爺地区洞爺2号井緊急対策事業	1363万円
		財田キャンプ場ケビン棟改修事業	133万円
		曙公園等公衆トイレ炊事場撤去事業	164万円
		過疎地域持続的発展支援事業（ジオパーク）	2100万円
		道路等環境整備事業	1億1200万円
		洞爺湖温泉街路灯LED整備事業	4368万円
土 木 費		民間大規模建築物耐震化事業	1億673万円
		緑沢団地解体に伴う外構撤去事業	598万円
教 育 費		地域未来塾タブレット更新事業	66万円
		洞爺湖芸術館横フェンス改修事業	341万円
新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 費		入江貝塚竪穴住居更新事業	1050万円
		住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	464万円
		子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	1616万円
		生活支援商品券給付事業	2122万円
		学校給食費支援事業	329万円
		物価高騰対策住民生活・経営継続支援事業	3310万円
		商工支援対策事業	325万円
		公共交通事業者特別支援金給付事業	270万円
		農漁業用燃油高騰対策支援補助金交付事業	950万円
	予 備 費		3304万円

意見書

○後期高齢者医療特別会計
歳入歳出をそれぞれ623万円の増額。前年度からの繰越金による増額補正。

○水道事業会計
水道料金を1ヶ月（7月請求分）減免することに伴い1580万円を減額、一般会計からの補助金1580万円を増額補正。

○急激な物価高騰からくらしと営業を守る緊急の経済対策を求める意見書

○食料の自給率向上を国政の柱に据える政治転換を求める意見書

○核兵器禁止条約への参加・署名・批准を行うことを求める意見書

○森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

町民のくらしをどう守るのか、 町民参加の町政運営を

立 野 広 志 (日本共産党)



質問 1

政治姿勢について

問 コロナ感染の爆発的な拡大が繰り返され、町民の命と暮らし、地域経済に大きな打撃を与えています。これ以上の拡大を何としても防がなければなりません。町民の命と暮らしに責任を負いどう守るか伺う。

答 国よりも上乗せした独自の対応は非常に難しい。生活福祉資金、総合資金と緊急小口資金の借入れの返済で苦慮している住民がおられるというお話ですが、社会福祉協議会と情報の共有が可能か確認し、必要に応じて情報連携を図った中で、しっかりと対応します。

問 「非核平和の町宣言」の町として、国内外の平和をめぐる問題に対する認識は。

答 核兵器禁止条約もあり、非核三原則を守る非核平和の町を宣言した洞爺湖町として、しっかりと遵守して、平

和な未来へと子どもたちに引き継いでいく考えです。ロシアの侵略行為はどのような理由があるうとも、非難すべきことです。

問 口先だけの「男女共同参画」や「多様性の尊重」でなく、本気でジェンダー平等に取り組む政治を渴望しています。その考えはあるか。

答 洞爺湖町男女共同参画計画を基に、実施計画を作成し、町民や事業者、関係機関等が一体となって男女共同参画の推進に取り組みます。

問 物価高騰から町民生活をどう守るか。男女の賃金格差の是正とともに、まず緊急に行うべきは、消費税を5%に減税し、インボイス導入を中止すべきと思うが。

答 消費税は、国の問題で、私にとつてはなかなか厳しいところであり、消費税5%減税は難しいと思います。

問 気候変動による脅威と被害は、「経験したことがない」豪雨や暴風、猛暑などきわめて深刻です。昨年の夏も、大雨特別警報や今年2月



の異常な豪雪被害など、気候危機は、緊急に解決しなければならぬ死活的な大問題となっています。どう考えているか。

答 再エネ、整備については国の補助制度もあります。が、100%ではありません。全体の財政状況も踏まえ、効果の大きい事業を模索していきます。

問 この間、政府による医療・介護・福祉・公衆衛生などを切り捨てる制度改悪が繰り返されてきました。これらの現状認識と施策方針は。

答 まずは貧困と格差の拡大が深刻化していく中で、子どもが健康で安心して日常生活を送っていくことができる施策を進め、その後、高齢者の対応も一歩一歩前に進めていきたい。

質問 2

住民参加の町政運営について

問 まちづくりは、持続可能な地域経済社会の基盤づくりです。そのためには、地域住民の計画づくりへの参加と合意形成が不可欠です。計画段階から検討委員を公募するなど、町民参加を徹底する考えはあるか。

答 議員から遅々として進まない基本条例の策定についての提案ですが、前向きにしっかりと庁内で整理をしながら、策定の段取りに向けて進めさせていただきたいと思っています。



町民が住みよい町作りを

大久保 富士子 (公明党)

質問 1

洞爺湖町においての二酸化炭素削減の対応について

問 二酸化炭素に対しての現在の主な取組みについて伺う。

答 役場内の取組みとしては電気使用量の削減や燃料使用量の削減に努めています。また、ノーマイカーデーの実施なども行っています。

町内の取組みとしては二酸化炭素削減、脱炭素に係る町民への意識啓発が重要と考えて毎年1月の町内回覧で、各家庭で出来ることの取組みやクリーンエネルギー車の製品の購入について周知を行ったところです。

問 実際に行った役場内での取組みに対する成果について伺う。

答 二酸化炭素の排出量は前年度の令和元年と比較して5%の減、平成25年度と比較して22・6%の減となっており、この減少傾向が今後

維持できるように、改めて全職員に対し節減対策を徹底していきます。

問 今後、電気自動車の普及が加速されていくと思われませんが、町内の公共施設に設置されている急速充電器3台の管理運営及び利用状況について伺う。

答 充電インフラネットワーク事業者から充電インフラ普及支援プロジェクトの維持権利金の交付を受けて管理しています。利用状況は昨年度、役場前・413件、文化センター・124件、洞爺総合支所・84件、計621件となっています。



役場庁舎前の急速充電器

問 利用が少ない急速充電器設備に対して、町としてどのように考えているのか伺う。

答 脱炭素社会の実現に向けて有効な取組みであることから、町が管理しております急速充電器3台についてはそれぞれの今現在ある場所で維持していく考えです。

質問 2

物価高騰対策について

問 町における生活困窮者などに対する具体的な支援助成について伺う。

答 住民税非課税世帯等に対しては臨時特別給付金に付いては給付金額10万円、対象世帯数は200世帯です。

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金の給付額は5万円、対象世帯数、130人を見込んでいます。

また、地方創生臨時交付金を活用いたしました町の独自事業のうち、低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給

付金上乗せ分として給付金額3万円、対象者数は263人を見込んでいます。生活支援商品券給付は、上乗せ分として商品券給付金額1万円を対象世帯数は1900世帯を見込んでいます。

問 打撃を受けている事業者に対しての具体的な支援事業について伺う。

答 公共交通事業者特別支援金として270万円、農業用燃料高騰対策支援補助金として949万7千円、物価高騰対策事業支援として1290万円を予定しています。

問 原油や物価の高騰はいつまで続くか見通せない状況であります。今後の対応や対策について、町の考えを伺う。

答 今後も先が見通せない中であるため、国の動向を注視しながら必要な要望等を行い、どのような経済対策ができるのかなど、産業団体と十分に協議しながら、今後の対応を考えていきたい。

コロナ禍後の洞爺湖観光 振興のSDGsについて

大 屋 治 (令 和 会)



質問 1

洞爺湖一周線について

問 登別洞爺湖広域観光圏協会・洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会・羊蹄山麓周辺町村との連携による広域観光誘致を推進しなければならぬ洞爺湖町として、洞爺湖の東回り、西回りの道々一周線についての考え方は。

答 合併以前から室蘭地方総合開発期成会を通じ、北海道に対して旧虻田町、旧洞爺村時代から整備要望してきました。現在SDGs中の持続可能な観光振興という点では、今後とも重要な路線だと位置付けており、充分踏まえながら引き続き要望等していきます。

問 一周線の観光客が沢山通る夏場に、路外逸脱やふらつき防止に必要な路側線の整備を請うべきでは。

答 ドライバーに対する安全対策として、サポカーによる車線逸脱警報機能は事故

防止に有効であると認識しています。線形改良を含めた路線の拡幅について継続要望しています。既存の区画線が消えている部分では北海道への要望でなく道路維持の担当部署に働きかけをしていきます。

質問 2

道の駅あぶたと隣接している夕日ヶ丘パークゴルフ場について

問 道の駅あぶたの近くには漁業者の住居があり、商業施設としては狭くて陳列するスペースが無く組合の方々も非常に苦慮している。今後建て替えや増設するのであれば津波発生時の旅行者や近隣住民の緊急避難施設としての機能を持たせた施設として、風呂も整備した休憩施設としての整備を望むが。

答 解体しての新築等については用地が狭くクリアしなければならぬ問題が山積み困難です。道の駅の機能や集客を考慮すると建物の配置とか駐車場の広さが必要です。

国道37号線沿いの用地確保は困難ですが、いろいろな面での可能性を検討します。

問 パークゴルフは自然と向き合い3世代交流ができる安全に健康増進ができるスポーツです。また温泉宿泊者がブレイしに来てくれる洞爺観光の連携施設です。今後整備するのであれば雨宿り対策もとれ、公認が受けられる36ホールへの整備をどう進めるのか。

答 用地取得が困難なことからコース増設はむずかしい。ホールの増設についてパークゴルフ協会、それを管理しているグリンステイ洞爺湖とも協議・調整を進めておりますが、新たなコース整備に係る財政面、管理の面から拡充は厳しい状況です。コース拡充を含めて今後とも総合的に調査研究を進めます。雨宿り対策はトレイルセンター活用と考えます。

質問 3

新GOTOトラベルについて

問 今迄のGOTOトラベルは高級宿に人気が集まり不評がありましたが洞爺湖割の取り扱い進捗状況と客層について伺う。

答 6月10日現在、予約を含めて57%の利用が見込まれ4月から修学旅行生が、週末はコロナ禍に応じ家族連れや少人数での旅行者が多くみられ、いずれもコロナ対策をしています。



夕日ヶ丘パークゴルフ場



子育てしやすい 町づくりを

今 野 幸 子 (日本共産党)

質問 1

給食センターの統合とその後の給食のあり方について

問 給食センター増築につきアレルギー対応とお弁当なども十分に作れるスペースが必要と考えるが。

答 どのような給食提供内容となるのかを踏まえて、適切な施設となるよう協議していきます。

問 新たな検討委員会のメンバーは何名程で、どのような方法で集められるのか。

答 15名程で意見書をいただいた会からも構成員を出し、細部まで配慮した意見を十分いただけるようなメンバーを考え、しっかりと新教育長に引き継ぎます。

問 地産地消で取り組む学校給食を、数が増えても継続していくには町の支援も必要になります。給食を守るための考えは。

答 配送距離が延び、配達できる業者はいるのか、地



蛇田給食センター

質問 2

令和4年度町政執行方針について

元野菜で増えた量を確保できるのか、課題はありますが、両給食センターの良いところは全て取り入れていこうと考えています。移送費等経費も相談があれば教育委員会も入って協議していきます。

問 保育の中で食べるという行為は、体だけではなく心も育ててくれる食育であり保育そのものです。保育料の無料化には副食費も含まれて当然と考えるが。

無料化には副食費も含まれて当然と考えるが。

答 令和5年度の保育料の無償化の内容には、給食費や一時預かりも含めて、無償化とする内容です。

問 高校生までの医療費無料化の拡大はいつからになるか。またその周知方法は。

答 来年8月の診療分から適用とし、初回の受給者証の交付にあたり必要な添付書類とともに更新日の7月までに申請書の提出が必要です。広報紙・ホームページで周知

令和5年4月対象生年月日の構成員がいる世帯には個別に申請書を送付します。

問 中学入学時の出費は多く中でも制服の出費は大きく、入学時支援は助かります。今、多様な性が問われ、普通に近くにいることが自然というデータもあることから、これを契機にそのようなことも考慮し制服は必要なのか、必要ならデザインは今のままで良いのか考える必要があるのではないか。

答 個人の尊重・性の尊重を十分理解した上での教育は、現場が一番大事です。今

後学校サイドとも十分協議していきます。

問 高校生への助成に通学費だけではなく、通学の利便性も考えていただきたい。可能であれば、温泉中学校生徒の蛇中への送迎バスで洞爺から直通で蛇田地区へとか、路線バスももう少し利便性をよくできないのか、蛇高の存続のためにも通学の利便性を考えるべきでは。

答 洞爺地区との意見交換の中で、蛇田地区までの直通バスを望む声が多く、高校生、保護者向けのアンケートでも、通学でのJR利用ができなく、そういう望む声も実際にあります。運行するには、課題も多くそういった点も含め、現在、地域公共交通計画を策定している段階です。



明るく元気な町目指して

千葉 薫（有志会）



質問 1

今回町長選で掲げられた公約について

問 しもみちビジョンとは。

答 少子化が進む中で、子育て支援を拡充させ、働く世代の転出を抑制し、転入につながる移住者支援を進める。同時に産業支援と高齢者の皆さんが安心して暮らせる町、子どもから高齢者まで誰もが幸せを感じるまちづくりです。

問 子どもたちの未来のためにと云うことで、子育て支援に力を入れているが財政負担は。給食費無料化と虹田中学校新校舎建設の考え方は。

答 出産祝い金、おむつ無償提供は、みんなの基金でふるさと納税寄付金を見込んでいます。来年度以降の保育料の完全無料化に560万円程度、高校生までの医療費無料化に400万円、中学校入学支援に305万円、高校生通学費助成の拡大で904万円です。給食費無料化につ

いては、将来的に検討をしていきます。虹田中学校建設についても、現状では大変厳しいので、教育委員会とも十分協議、検討してまいります。

問 役場体制の強化、役場組織の改編とはどのように考えているのか。

答 役場体制の強化については、子育て関連とふるさと納税を強化していきたいと思っています。改編については、現在あるグループ制を廃止して、役割と守備範囲を明確にさせる体制の導入を考えます。

問 役場と連携できる自主活動団体の拠点となる町民活動センター整備とは。

答 町の公共施設において、私書箱のような受け渡しスペースを設置して、郵便物をお預かりしたり、役員会が開催できる場所があれば、団体活動の役員の負担も軽減できると考えています。

問 民間温泉施設とのコラボによる町民大浴場サービスの創設とは何か。

答 民間温泉施設等の協力が得られるようであれば、

日帰り入浴の町民専用の時間帯、町民専用休憩場所を設定していきながら、町民の触れ合いの場を創設していきたいと考えております。

問 防災、減災対策として、避難先ルートと避難道路の再検討を提案しているか。

答 日本各地で相次ぐ豪雨災害や新たな津波浸水想定さらには有珠山噴火から22年経過していますので、総合的な避難ルートの検討が必要であると考えています。

質問 2

洞爺芸術館建設について

問 建設費の問題で、新築・改築は見合わせるということだったが、補修による継続とするのか。

答 財源の問題も含め、短期間で答えを出すのは難しいことから、現施設で可能な範囲で維持管理をしていきます。

質問 3

ビエンナーレの再開について

問 町として必要な事業と思うが、どう考えているか。

答 クラウドファンディングにしても、ふるさと納税のひとつのメニューとして入れている事も非常に大切かと思いますが、大きなイベントですので慎重に対応していきます。できない事の理屈を考えるのではなく、切り口を変えてでも検討していきたいと思っています。



芸術館



町政への新しい風は 大胆に、しかし慎重に

五十嵐 篤 雄（侑志会）

質問 1

町政執行方針について

問 町政に新しい風を吹き込むべく選挙に臨まれ、町政を担う立場になられました。住んで楽しめるまちづくりに向け、町の魅力や強みについてどう捉えているのか、また弱みは何か。

答 魅力は噴火湾・洞爺湖・有珠山など自然と共生出来ること、災害、噴火に覚悟を持って生き、一緒になって自然を守り持続可能なまちづくりを目指すことです。強みは交流人口が多いこと、洞爺湖町と言う名前「ブランド」です。弱みは、地形上のリスクの不安、経済的側面では町内での域内循環が回っていないことです。

問 小中一貫教育の推進について、統合、新築・改築を含めて現段階での考えは。

答 小中一貫教育は、これからの少子化で教育は本当に大事だとの中、地区は別

して、統合、改築に軸足を置いていくことは大切だと思っています。

問 移住・定住対策として「みらいフォーラム」を開催するとしていますが、時期や対象者は。また、どんなことを期待されているのか。

答 みらいフォーラムはネット環境を利用した移住・定住者を対象にして2、3ヶ月の間、考えを聞いたり、直接会う機会を設けるものです。在住者の方からも当然意見を聞いていきます。

問 コミュニティとしての浴場整備の検討について、具体的にどこを指しているのか。

答 健康増進、交流の場として、民間の温泉施設の協力が得られれば、洞爺湖温泉地区で、日帰り入浴の町民専用時間帯や休憩場所を作っていたかどうかということです。

問 行政組織の改編と体制強化について信頼を損ねた要因を何点かあげておられますが、複雑な制度の見直しや一層のデジタル化が必要と思

うが考えは。

答 事務の効率化やミスを減少させる点からもデジタル化の推進は必要と思います。まずはミスを起こさない組織改編ということで、グループ制の廃止という形で、一歩一歩進めたいと思います。

問 中島のエゾシカ0頭について、協議会とのコンセンサスが得られているのか。

答 環境省より国立公園内の自然の風景地の保護のため、生態系の維持回復を図る必要がある場合に実施できる生態系維持回復事業の提案がありました。構成機関の同意が得られたことから洞爺湖中島エゾシカ管理計画を決定した状況です。



洞爺湖中島のエゾシカ

問 簡易水道事業の公営企業会計への移行について、法的に義務化されるのか。変えることのメリットはなにか。

答 総務省より、人口3万人以下の地方自治体の簡易水道事業及び下水道事業について令和5年度までに企業会計への移行が要請されました。メリットは、複式簿記での会計であるため、全体の損益を把握できること、財政状態や経営状態が一目で分かり持続可能な取組みの判断ができることです。また、すぐに水道料金の改訂に影響するものではありません。



合葬墓（合同墓）を設置 令和6年度供用開始へ

石川 邦子



質問 1

「墓地等に関する意識調査アンケートの結果について

問 町は、一月に町内に住む世帯主1000人抽出の墓地に関するアンケート調査を実施しています。

この調査の目的は、墓地の所有状況や取得希望などを調査し、将来の墓地需要推計の基礎資料とするほか、今後需要が高まるであろう合葬墓に対する町民の意向調査を含めた調査を行って、合葬墓設置の判断材料の一部として活用するとしています。

このアンケートの結果を踏まえた今後の合葬墓の設置計画について伺う。

答 今回のアンケートの結果416人から回答を得、合葬墓の必要性を問う設問では7割近くが「必要」と回答され、町民の意識が高く、合葬墓の需要が一定程度あると確認されています。

特に虻田地区での傾向が顕

著に現れており、今後は検討ではなく、設置に向けて取り組みます。

今後の計画については、当町にふさわしい合葬墓の形態や規模、場所の選定、町内宗教法人の意見等、基本となる構想や策定、条例の制定等の協議を重ね、令和6年度当初の供用開始を目指し進めます。



三豊霊園

質問 2

職員の各種ハラスメントの対策について

問 各種ハラスメントの相談窓口、相談件数について

伺う。

答 相談窓口は基本的に所属長となります。件数はパワーハラスメント一件、セクシャルハラスメント一件となっています。

問 ハラスメントが起きても今後の人間関係があるの言い出せない、問題にならずに終わる、研修を受け知識を習得しても相談できないなどの実態があるのでは。

答 ハラスメントの防止に向けて、ハンドブックや防止等に関する方針を作成し職員に周知、研修会の開催等未然防止に努めています。

また、一人で悩まず早めに相談することが大切としています。

問 窓口などで大声を出して職員を威圧する乱暴な言動、窓口や電話での長時間拘束、行政手続きにおける不当な要求などのカスタマーハラスメントの実態について伺う。

答 窓口での大声や暴言、苦情等による長時間の対応脅迫にあたる発言により警察等への相談もあります。

問 メンタルヘルス（心の健康）の不調を訴える職員の実態と対策について伺う。

答 令和元年度が「休暇5件・休職4件」令和2年度が「休暇4件・休職3件」令和3年度が「休暇2件・休職1件」となっています。外部へ委託を行い、職員のストレスチェックを実施し、状況把握に努めています。

問 職員が生き生きと働き続けることができる環境づくりに向けた対策について伺う。

答 ハラスメントについては丁寧に職員と一緒に考えてながら進めます。町長と職員との面談も行い、組織強化のため、心身ともに健康な状況で仕事に取り組める環境づくりが必要と感じています。

パワハラ
防止法





足元をしっかりと 見つめた町政運営を

越前谷 邦 夫（令和会）

質問 1

チェンジ町政の行方について

問 選挙運動の成果と有権者との約束について給与20%カット、退職金50%カットすると選挙公約が出された。そのことによって選挙の流れが大きく変わってきた。給与20%カットは条例改正ですから議案で質問させていただくが退職金50%カット約900万円の算出方法は。

答 退職金で50%カット約900万円、給与で20%カット4年間で約775万円とマニフェストに記載しております。退任するときの町長給料報酬の22ヶ月分が退職金になります。その金額の割る2ということで数字を出したところでは。

問 20・504ヶ月分です。約とは、おおよそ・大体・ほぼなのです。町長給与は80万7000円に20・504ヶ月掛けると、1654万6728円、50%カットとなる

と827万3364円で公約違反、900万円にはならない。900万円カット分を子育て支援等に回したら公職選挙法違反になる。百歩譲って選挙公約間違っていたと、広報に謝罪文・修正の文章を流すことは。

答 選挙公約の中で町民に示したので変更・修正に応じません。

問 洞爺湖町の基金・町債の現在額は。

答 基金32億3000万円。町債87億5000万円。

問 2021年末で国の借金約1017兆円と地方の長期債務残高193兆円合計1210兆円、国民一人当たり約966万円の借金を背負っている。広域連合ごみ処理施設建設の総事業費は約214億円だが洞爺湖町の負担金は。

答 洞爺湖町の負担金は3ヶ年で約11億8451万円です。

問 洞爺湖町の負担金は合併特例債等を充当されると思うが発行期限と額は。

答 令和7年度まで、未発行額は約10億円です。

問 平成17年度に洞爺湖町の借金は172億円で4指標の中で実質公債比率が早期健全化基準の25%に達したため、平成21年度から平成27年度の7ヶ年の早期健全化計画を策定し、負の遺産にしたいくない、子供、若い方々に借金を押しつけてはならないと皆んなで努力した。特別職給与20%カット、議員定数の削減報酬10%カット、一般職も給与10%カット等借金返済に追われ、4ヶ年で早期健全化団体から脱却できた。その間事業を起すのに北海道の承認を得て国の許認可が必要であった。有珠山を抱える町としてむやみに基金を下ろし、借金をする手法でなく、計画性のある事業を三味一体改革等で地方交付税の減額が進み昨今は新型コロナウイルスで経済が傷ついた。地方交付税と町税収状況を見て、住民の負担に應える事業を起してほしいと思うが。

答 部課長とも相談しながら進めていきたいと思っています。

問 選挙公約の実現目標と令和4年度町政執行方針についての基本的理念と姿勢を問う。脱炭素社会実現には住民の方々の参加が肝要である。若い木ほどCO2を吸収する。植栽、植樹祭は漁業振興にもなる植物性プラントンはホタテ養殖にもプラスになる。防災・減災では日本海溝を震源とする巨大地震への対策を強化する改正特別措置法が成立、補助率2分の1から3分の2に上がった。津波に対する防災力を高めるべきと思うが。

答 国の有利な制度、手出しをしなくとも、いろいろな働きかけをし、部課長と相談しながら前へ進めていきたいと思っています。

議会の動き

4月

- 25日 議会運営委員会
26日 令和4年4月会議（P2、3参照）

5月

- 2日 会派代表者会議
9日 全員協議会
10日 議会運営委員会
12日 令和4年5月会議（P2、3参照）
全員協議会
17日 全員協議会
胆振管内町村議会議長会令和4年度第1回定期総会
23日 白糠町議会行政視察来町
令和4年第1回 西胆振行政事務組合議会臨時会
25日 例月出納検査

6月

- 1日 会派代表者会議
3日 総務常任委員会
経済常任委員会
6日 全員協議会
8日 議会運営委員会
14日 北海道町村議会議長会第73回定期総会
15日～17日
令和4年6月会議（P2、3参照）
15日 議会広報常任委員会
16日 議会運営委員会
24日 総務常任委員会
経済常任委員会
27日 例月出納検査、随時監査

7月

- 6日 北海道町村議会議員研修会
15日 議会広報常任委員会
22日 議会広報常任委員会
25日 例月出納検査
令和3年度水道事業会計決算審査

北海道町村議会議員研修会

北海道町村議会議員研修会が7月6日(水)に札幌コンベンションセンターで開催され、参加しました。

政治ジャーナリスト 泉宏氏による「参院選最終情勢分析と選挙後の政局展望」についての講演が行われました。

受賞

おめでとうございます

北海道町村議会議長会の在職15年以上の自治功労表彰を五十嵐議員が受賞されました。



「洞爺水辺の里 財田キャンプ場」

(表紙の写真)

オートキャンプサイトやケビン、フリーテントなど好みのスタイルで、キャンプが楽しめます。テントサイトのほかにスポーツ広場、スポーツ交流館、イベント広場などの施設もあります。

整備の行き届いた芝生が美しい湖畔に広がるキャンプ場です。是非ご利用ください。

●期 間 4月下旬から10月下旬

●料 金 入場料

(1泊) 大人(中学生以上) 1000円
小人(小学生) 500円

(日帰り) 大人(中学生以上) 500円
小人(小学生) 200円

※各サイト料は上記入場料に別途料金となります。

●問合せ ☎82-5777

編集後記

今回の議会だよりは、4・5・6月会議での議案審議、一般質問、委員会報告等を掲載しています。下道新町長のもとで、初めて議員との意見のやり取りが行われました。執行方針に基づき行政が動き始めます。議会の役割は、行政執行に際し、その目的、期待される効果、予算の適切性などをチェックすることです。町民の皆様の視点で行政と議会がそれぞれの役割を果たすことにより、洞爺湖町の将来への責任が果たせると思います。

議会広報委員は皆様のお役に立つ広報誌づくりを目指し努力してまいります。そのためにもご意見などをお寄せ下さい。よろしく願います。

(文責 五十嵐)